

2024~2025 年度クラブ運営方針
「生み出そう感謝される喜びを」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB



2024 年 (令和 6 年) 10 月 30 日 (水)
第 1649 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (荒川 義昭 SAA)



●開会点鐘 (田畑 勝久会長)

●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

●本日のお客様



RI 第 2750 地区多摩中グループ
ガバナー補佐 竹内 政司様
グループ幹事 山下 耕平様

●ご挨拶

多摩中グループガバナー補佐 竹内 政司様

日頃より、田畑勝久会長を始め、岡野和弘幹事を始めとする昭島中央ロータリークラブの皆様には、2750 地区、そして多摩中グループのさまざまな活動にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、来月 11 月 13 日 (水)、こちらフォレスト・イン昭島にて、伊藤千恵ガバナーの公式訪問が行われる予定です。それに先立ちまして、皆様方に改めてお願い申し上げます。どうかガバナーの公式訪問が円滑に進むよう、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。本日皆様クラブ協議会を開催され、ロータリーの行動計画について話し合われるとのことですが、会長や幹事の皆様をはじめ、計画の作成には多大なご苦労があることと存じます。少し裏話なども交えながら、私の感想も後ほどお伝えできればと思っております。

●会務報告 (田畑 勝久会長)



先週の 10 月 20 日 (日)、21 日 (月) に開催された広島への親睦旅行にご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。お料理もとても美味しく、大変楽しい時間を過ごすことができました。また、石岡委員長をはじめ、親睦委員の皆様には、バスの中や宴会の場でのお酒の準備など、多大なるお心遣いをいただき、心から感謝申し上げます。

それから少し別のお話ですが、プロ野球のドラフト会議で、毎年暮れに行われる青少年野球教室に参加していた荘司宏太君が、ヤクルトスワローズから指名を受けました。彼は 3 年間、皆さんが作った豚汁を欠かさず食べていたそうです。私も普段はジャイアンツファンですが、彼が活躍する際には、ちょっと応援させていただこうと思っています。ぜひ皆さんも応援をお願いいたします。

本日のグループ協議会におきまして、活発な討論をよろしく願いたします。

●幹事報告 (岡野 和弘幹事)



10 月 11 日 (金) 11 時より、帝国ホテルにてパラグアイ共和国駐日特命全権大使マリオ・マサユキ・トヨタシ閣下の着任記念公式レセプションが開催され、NPO 法人「海外に子ども用車椅子を送る会」の森田様とともに、岡野景子副会長および私、幹事岡野が参加いたしました。森田様からは、来年パラグアイに子ども用車椅子を送りたいとのお話が新大使に伝えられました。

10 月 12 日 (土) 17 時 30 分より昭島青年経営者クラブ 60 周年記念式典および祝賀会が昭島館で開催され、田畑会長と私、幹事岡野が参加いたしました。

10 月 13 日 (日) 9 時 30 分より、国際奉仕委員会主催の 2 回目の子ども用車椅子整備が石川酒造敷地内で行われました。

10 月 20 日 (日) にはアークヒルズカラヤン広場にて「世界ポリオデー 2024」が開催され、地区の須田会員と西会員が参加しました。

10 月 23 日 (水) 18 時 30 分より、立川駅南口の「トスカーナ」にて例会場移転準備に向けた打ち合わせが行われました。本田クラブ管理運営委員長のもと、会長、幹事、正副 SAA、親睦委員会、出席委員会の各委員長および副委

員長が参加しました。

10月24日(木)10時より、令和7年昭島まちづくり新年賀詞交歓会実行委員会が昭島市役所にて開催され、田畑会長が出席しました。

10月29日(火)17時30分より昭島市商工会設立50周年記念大会が昭和館で開催され、田畑会長と幹事岡野が参加いたしました。

続きまして、地区からの案内です。地区より、ポリオ根絶支援企業の寄付募集案内が届いております。募集期間は11月30日(土)まで、寄付は1口5万円からとなっております。支援企業は地区ロータリー財団委員会のホームページ掲載や地区大会での発表などで公表されます。詳細は事務局にお問い合わせください。

また、地区より、ポリオプラス・ソサイエティへのご登録、ポール・ハリス・ソサイエティメンバー加入のお誘いが届いております。詳細は事務局までお問い合わせください。

来年6月21日(土)から25日(水)に開催されるカナダ・カルガリー国際大会にて伊藤ガバナー主催の「ガバナーナイト」が開催される予定です。ガバナーナイトの登録についての案内も地区より届いておりますので、ご確認をお願いいたします。

東京米山友愛ロータリークラブより創立15周年記念例会祝賀昼食会のご案内も届いております。日時は2025年2月8日(土)11時より、会場はホテルニューオータニ東京となっております。ご参加をご検討の方は事務局までご連絡ください。

最後に、本日例会終了後、理事会を開催いたしますので、理事の皆様はご出席をよろしくお願いいたします。

●クラブ協議会

「クラブ行動計画について」

主旨説明(重森 元樹クラブ行動計画推進リーダー)



ロータリーのビジョン声明は、今後のロータリーの方向性を示す重要な指針です。ビジョン声明の内容は、「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」というもの

のです。

ビジョン声明と共に、ロータリーには「エッセンス声明」もありますので、こちらも読み上げます。「ロータリーは、様々な国や文化、職業のリーダーが集うネットワークであり、交流を通じてアイデアを広げ、世界中の地域社会に変化をもたらすために行動しています」。この一文に、ロータリーの本質がよく表れており、ロータリアンであることに誇りを感じました。そして、このビジョン声明を受けて行動計画が策定されました。ロータリーの行動計画は、今後の成長を続け、人々をつなぎ、持続的な変化をもたらすための方向性を示しています。行動計画には、国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するための4つの重点事項が含まれています。それは、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的な関わりを促す」「適応力を高める」の4点です。

このビジョン声明や行動計画がいつから存在するかご存知でしょうか。実は、ロータリーのビジョン声明は2017年6月に策定され、その後2018年6月から行動計画が始

まりました。この点についても本年度のクラブ概況書の10ページに記載されていますが、年数が経つにつれて形骸化したり、削除された年もあるようです。コロナ禍の影響もあり、意識が薄れてしまったのかもしれませんが。

このような背景を踏まえ、行動計画の推進リーダーとして私が任命されたのだと思っています。行動計画はロータリーのより良い未来を目指す指針であり、多様性(Diversity)、公平性(Equity)、包括性(Inclusion)の概念、通称DEIも含まれています。こうした価値観に対して抵抗感を抱かれる方もいらっしゃるかもしれませんが、ロータリーではこうした価値が尊ばれる以前から、4つのテスト(真実か、公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるか)を通じて普遍的な価値観を大切にしてきました。今後もこの行動計画を振り返りつつ、4つの重点事項について考えたいと思います。

※より大きなインパクトをもたらす：過去の活動を振り返り、より良いものにしていくための方向性を皆で考える。

※参加者の基盤を広げる：多様な会員を受け入れ、地域の方々も巻き込みながら行事に参加できる関係を築く。

※参加者の積極的な関わりを促す：多様な会員がそれぞれの能力や個性を發揮しやすい会にする。

※適応力を高める：急速に変化する社会に柔軟に対応し、新しいことにも挑戦していく。

このように、行動計画とは具体的な指示ではなく、活動の方針と捉える方が良いかもしれません。

また、戦略計画についても説明します。これは行動計画を基に、クラブを活性化させ、社会に影響を与えるための計画です。戦略計画は、3年後のクラブの目指す姿をビジョンとして設定し、それに向けて計画・実行・評価・改善を繰り返します。ハードルは高いかもしれませんが、東京昭島中央ロータリークラブとしても挑戦していければと考えています。

最後に、クラブ会員の皆様の意見を集めるため、アンケートにご協力をお願いしています。机上のアンケートにご記入の上、受付にてご提出いただければ幸いです。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

講評(多摩中グループガバナー補佐 竹内 政司様)



重森さんから、クラブの行動計画推進リーダーとしてのお話をいただきました。実はこの推進リーダーという役割は、地区からの新たなリクエストによるものです。そのリクエストを基に、昭島中央さんが委員会を設立し、推進してくださったことに感謝して

います。現在、ロータリークラブは会員の減少という現実と直面しています。この状況を打破し、クラブを活性化させることで地域社会により多く貢献し、さらにロータリーを広く知っていただくことで会員増加を図る必要があります。私自身、ロータリー出身ですが、今ではロータリーとロータリーが並列になっています。かつてはロータリーが青年部的な位置づけだったことを考えると、ロータリー全体に危機感があるのは明らかです。こうした状況の中、田畑会長が策定された戦略計画や活動指針は大変重要です。アンケートを通じて会員の意見を吸い上げ、クラブの将来像を具体的に描こうとしている姿勢は素晴らしいと思います。

従来、ロータリーは会長の単年度活動方針に基づいて

動いていましたが、現在は3年というスパンでの「ローリングターゲット」方式が推奨されています。この方式では、継続性のある事業と一貫性のあるクラブ運営が重視されます。次年度、次々年度の会長を含めたクラブ全体での話し合いが求められています。

また、DEI（多様性・公平性・包括性）についても言及されました。日本では既に多様性がある程度受け入れられていると考えられる部分もありますが、それを意識的に実践し続けることが重要です。不易流行の精神、すなわち変わらない本質を守りつつ、新しい変化を取り入れていく姿勢が必要だと感じます。ロータリーの4つのテスト（真実か、公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるか）やビジョン声明は、こうした価値観の実践を支える基本的な指針です。田畑会長が掲げるクラブテーマ「感謝される喜びを生み出そう」は、自分と異なる価値観や背景を持つ人々を温かく受け入れ、調和の取れたクラブを目指すものです。親睦についても、ただ楽しむだけではなく、相手を思いやり、良好な人間関係を築くことが重要です。それがクラブ全体の調和を生み、ロータリーの基本精神である「融和と共助」につながります。田畑会長の実直で優しいお人柄は、クラブを温かく包み込む存在であり、私自身も協議会で多く助けられています。田畑会長が大切にされている「ありがとう」という言葉は、人と人をつなぐ鍵だと思います。重森さんの説明や、皆さんの協議の様子を拝見して、昭島中央ロータリークラブがさらに発展することを心より祈念しています。簡単ではありますが、私の感想とさせていただきます。

ニコニコ BOX

(磯野 昇親睦副委員長)



◎田畑会長
国際ロータリー第3750地区多摩中グループ竹内政司ガバナー補佐、山下耕平グループ幹事、ご来訪ありがとうございました。

◎椎名会員

竹内ガバナー補佐、山下グループ幹事、ご来訪ありがとうございます。我がクラブのご指導をよろしくお願いいたします。

・岡野幹事

竹内政司ガバナー補佐、山下耕平グループ幹事、ご来訪ありがとうございました。重森さん卓話ありがとうございました。

・岩本会員

竹内ガバナー補佐、山下グループ幹事、本日はご来訪ありがとうございます。

・志賀会員

竹内ガバナー補佐様、山下グループ幹事様、ご来訪ありがとうございます。

10月13日車椅子整備に多くの会員の皆様の参加ありがとうございました。

●出席報告

(高田 啓太出席委員)



会員数	54名
出席義務会員	53名
本日の出席	38名

●委員会報告

(指田 裕士 駅伝部助監督)



正月の駅伝大会について、ご報告させていただきます。今回の駅伝大会は、1月12日(日)に開催されます。今年も昭島中央ロータリークラブとして3チーム、選手15名、補欠6名、合計21名で参加予定です。「我こそは!」と手を挙げていただいた皆さん、本当に

ありがとうございます。

チームの準備についてお知らせいたします。すでに全員分の登録申請は11月1日(金)に完了しております。また、11月21日(木)に練習および決起会を予定しております。詳細は追ってお知らせしますので、確認をお願いします。

大会当日は、1月12日(日)の朝から走ります。そして、大会終了後には、お疲れ様会を兼ねた新年会を開催予定です。新年を皆さんと一緒に祝いしながら、楽しい時間を過ごせればと思います。

体制についてもお伝えします。駅伝監督は若杉さん、コーチは中野さん、そして私が助監督を務めます。この体制で皆さんと共に大会に臨みますので、どうぞよろしくお願いします。

最後に、大会本番まで残り約2ヶ月となりました。選手の皆さん、練習を頑張ってください。全員で力を合わせて、素晴らしい結果を目指しましょう!

●次週例会予定

(若杉司プログラム委員)



11月6日(水)
親睦旅行振替休会

11月13日(水)
「伊藤千恵ガバナー公式訪問」
昭島RCとの合同例会

●閉会点鐘

(田畑 勝久会長)